

2 目標達成計画

事業所名 GH鶴見の太陽
作成年月日 令和4年 3月 4日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	20 49 51	2年余のコロナ禍で、利用者様の日々の過ごし方や家族・地域とのかかわりに、大きな制約と変化が求められてきた。この状況下で、利用者様の心身の安定をどう図っていくか、活性化させていくかが、大きな課題となっている。	四季折々の変化を、施設内で、時に戸外で、風景を愛で食を楽しむことで感じ、イキイキとした日常を過ごすことができる。	①春夏秋冬の移り変わりを車中あるいは施設近辺散歩にて楽しむ（車中は車で片道20分程度、無理のないよう配慮）。②施設内では季節ごとの祭りや行事の実施（お汁粉、甘酒等季節に合う出店）③家族とのつながりを深める（面会が難しい状況でも、手紙の活用：手書きが難しい方には文飾カードを用意し一緒に文章を作っていく、ネット利用の会話等	12か月
2	35	コロナ禍で地域の方との共同での訓練は難しい状況。新しい形で密な連携模索が課題。また、避難路の点検や備蓄の管理、利用者様の名前確認など、日頃よりスムーズに避難が行える準備が必要。	非常災害時、地域と協力し合い、利用者様が混乱しないように配慮し、スムーズに避難することができる。	①地域連携の新しいあり方：日頃から、互いの訓練内容、いざという時の連携方法など濟やかな情報共有を書面や電話でやり取りし、緊急時のスムーズな対応を可能とする。②利用者様各自の名札を準備し緊急時の所在確認を容易にする。③備蓄管理、避難経路の確保・チェックを行う。	12か月
3	45	入浴支援については、常に安全を目標としているが、しかし体動の激しい利用者様の転倒転落のリスクは絶えずあり、常時適切な対応が求められ、課題でもある。	転倒転落を防止し、入浴で清潔を保ち、心地よく過ごすことができる。	①体動激しく、特に見守りを必要とする方については、入浴の順番を配慮、入浴後は直ちに休憩室に戻り、水分補給を行い、安全に休んでいただく。②着脱時、利用者様各自の自立支援を行えるよう声掛けするが、体幹バランスが崩れやすいので、様子観察・適切な支援を行う。③入浴環境の整美の徹底、等	12か月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。